

(9) 西予ブロック（西予市）

～産地づくり～

県育成品種等や基盤整備地に導入する戦略品目等を基幹品目として、気象や立地条件等地域の「強み」を活かした生産体制の強化を図るとともに、今後新たな産地化に向けた品目等について、市場情勢の変化への対応やマーケットの開拓等出口戦略を見据えた生産振興と、それを維持するための労働力確保等中長期的な産地づくりに取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○売れる米づくりと水田フル活用による産地強化

【取組】

- ① 減農薬・省力栽培や「ひめの凜」の高品質生産の推進
- ② 適切な施肥時期、施肥量推進による、良食味産地の確立支援
- ③ 「あきたこまち」から「にじのきらめき」への転換推進
- ④ スマート農業技術の導入推進
- ⑤ 良食味米産地としての認知度向上及び販路拡大対策の推進

【成果】

- ① 減農薬・省力技術の実証ほ（32カ所）及び「ひめの凜」の実証ほを設置（4カ所）し、生産技術を周知
- ②
 - ・「ひめの凜」1等比率：80%
〔R6：84%、R5：74%、R4：71%、R3：89%〕
 - ・良食味分析点数：130点
- ③
 - ・「にじのきらめき」転換方針検討・指導者研修会（4回）
 - ・令和8年産に向けた種苗確保（面積：520ha）
- ④ レーザーレベラーや湛水直播用播種機を導入
- ⑤ 「西予米No.1コンテスト」で2人表彰
「県ひめの凜食味コンテスト」で最優秀賞1人、優秀賞2人



ひめの凜現地研修会



にじのきらめき指導者研修会



粗摘果講習会



南予用水施設の老朽化対策

○魅力あるかんきつ産地の維持

【取組】

- ① 温州みかんの高品質生産を目指し、定点調査や果実肥大調査の結果等を踏まえた芽花管理や摘果、剪定技術を指導
- ② 4Hクラブで、愛媛大学生と連携した地域振興活動を実施
- ③ 南予用水施設の老朽化対策の推進

【成果】

- ①
 - ・温州みかんの剪定技術を習得
 - ・荷受数量 明浜町：550t〔R6：250t、R5：621t、R4：730t〕
三瓶町：2,170t〔R6：992t、R5：1,978t、R4：1,810t〕
- ② 地元かんきつを使用したスムージー等を開発し、販売
- ③ 2地区（明浜、三瓶）の基幹水利施設で老朽化対策を実施：140,188千円

○県下最大の野菜産地の維持・発展

【取組】

- ① 耐病性品種導入によるきゅうりの生産振興
- ② 夏季の高温対策と環境制御技術等によるトマト・ミニトマトの生産振興
- ③ いちごの省力化技術やIPM※への取組推進
- ④ 高原にんにくの高品質安定生産による産地化推進

【成果】

- ① 耐病性品種を11haで導入
- ②
 - ・生産量：104t（R6比：60.1%）、栽培面積：1.8ha（同77%）
 - ・夏季の高温対策に遮光資材等を導入：14戸
- ③ 省力化のためのIPM技術導入農家：17戸
- ④
 - ・生産量：1.46t〔R6：1.43t、R5：1.17t、R4：2.8t、R3：2.7t〕
 - ・栽培面積：0.4ha〔R6：0.4ha、R5：0.4ha、R4：1ha〕
 - ・種子にんにくコスト低減のための地域内種子生産試験の実施



地域内種子にんにく生産試験

※ IPM：利用可能なすべての防除技術（耕種的防除、物理的防除、生物的防除、化学的防除）の経済性を考慮しつつ、総合的に講じることで病害虫・雑草の発生を抑える技術

○中山間地域の果樹振興、ゆず・くり産地の強化

【取組】

- ① ゆずの高品質安定生産を推進するため、整枝剪定等を重点指導
- ② 環境負荷軽減を図るため、ゆずの有機栽培を推進
- ③ くりの高品質生産を推進するための栽培指導

【成果】

- ① ゆず出荷量：798.5t (R6：486t、R5：841t、R4：445t、R3：660t)
- ② ゆずの有機栽培面積：1.6 ha (R5：1.6ha)
- ③
 - ・くりの平均単価：729.7円/kg (R6：756.8円/kg)
 - ・「奥伊予特選栗※」認定園地数：31
(R6：34、R5：35、R4：37、R3：39)
 - ・特選栗出荷量：43.6t (R6：21t、R5：41t、R4：28t、R3：38t)

※ 奥伊予特選栗：厳しい園地審査等をクリアした大玉の特選栗



ゆずの剪定指導



奥伊予特選栗審査会



さといも生育状況調査



さといもの現地研修会

○基盤整備等を契機とした高収益野菜の産地化

【取組】

《野村町太田権現地区》

- ① 加工用青ねぎについて、栽培講習会の開催、高温対策の実証圃設置、販路拡大を支援
- ② 新規作目として、さといもの導入検討

《宇和町・野村町》

- ① さといも現地実証圃設置（2カ所：自動給水・生分解性マルチ）や新規生産者の生育状況調査、現地研修会等による栽培推進
- ② 収穫機、管理機等の導入による労働環境整備

【成果】

《野村町太田権現地区》

- ① 加工用青ねぎの夏季の栽培技術が向上し、販売単価も上昇
- ② 2圃場で、さといも栽培開始

《宇和町・野村町》

- ① 栽培面積：6.4ha (R6：3.4ha、R5：2.8ha、R4：2.6ha)
- ② 収穫機、管理機の活用推進

～地域づくり～

担い手不足と荒廃農地の増加を解消するため、生産基盤の整備を進めると同時に、担い手への農地集積と生産性の向上を図り、地域が一体となって農地を継承していくシステムを構築するとともに、生産基盤のない新規就農者をサポートするなど、農家子弟を含めた幅広い担い手の育成に取り組めます。

～推進対象や地域づくりの方向～

○地域を支える担い手の確保と育成

【取組】

- ① 生産基盤整備の実施と担い手への農地集積を促進
 - 伊延西地区：R元～9、A=17.9ha (101,880千円)
 - 野村地区：R2～8、A=7.5ha (48,000千円)
- ② 法人の経営改善相談や高収益作物の作付け体系検討により、水田農業の担い手育成を支援
- ③ 各種研修会により、認定農業者の資質向上を支援

【成果】

- ① 伊延西地区及び野村地区：区画整理・暗渠排水を実施
- ②
 - ・伊延西地区：担い手候補の確保育成支援中
 - ・野村地区：青ねぎ・さといも等の営農体系支援中
- ③ 鳥獣害対策セミナー、高温対策セミナーの開催



ほ場整備施工状況（伊延西）



暗渠排水施工状況（野村）

○新規就農者の確保・定着と若い農業女子の活躍促進

【取組】

- ① 就農希望者に対し、研修の受講を積極的に誘導
- ② 新規就農者（独立自営）に対して、支援制度の紹介と経営開始計画の策定を指導
- ③ 販売金額1千万農家の育成を目標に、重点対象農家に生産技術や経営ノウハウを指導
- ④ 一次産業女子ネットワーク組織の自主的活動支援

【成果】

- ① 就農準備研修受講者：1人（研修先：JA）
- ② 認定新規就農者：8人認定（夫婦共同含む）〔R6：9人〕
- ③ 販売金額1千万円達成農家数：4～7人〔R6：3人、R5：1人〕
- ④
 - ・自主的活動：SNS研修会（8月）
 - ・他組織との交流会（9月、1月）



重点対象農家への指導



農業女子SNS研修会

○農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策

【取組】

《農業用ため池》

- ・要改修ため池改修又は廃止の計画的実施

【成果】

- ・防災重点ため池改修：1か所（120,000千円）
- ・防災重点ため池廃止：3か所（33,000千円）



ため池改修状況

○農地の保全管理と集落機能の維持

【取組】

- ・農地等の保全管理の共同活動支援

【成果】

- ・多面的機能支払交付金：124,112千円
- ・中山間地域等直接支払交付金：231,404千円
(136組織、1,682ha)



多面的機能活動

～県内一の畜産地帯の維持・発展～

【取組】

- ① 耕畜連携を推進（飼料イネ、飼料米利用）
- ② 飼料作物等自給粗飼料生産の維持・拡大
- ③ 優良後継牛の確保を推進（家畜の遺伝的能力評価）
- ④ 母牛能力に適した凍結精液の選定指導
- ⑤ 愛媛あかね和牛の生産性向上のための技術・管理指導
- ⑥ 飼養管理施設、機械設備の導入を推進

【成果】

- ① 「耕畜連携連絡協議会」連絡会議を開催し、耕種と畜産が情報交換
- ②
 - ・飼料イネ、飼料米生産の作付面積（実績）
飼料イネ：144ha
〔R6：156ha、R5：123ha、R4：100ha、R3：82ha〕
飼料米：7ha
〔R6：40ha、R5：68ha、R4：78ha、R3：68ha〕
※令和7年度飼料米多収日本一コンテスト：農林水産大臣賞（全国1位）
 - ・飼料作物のツマジロクサヨトウ初期防除指導
- ③④ 繁殖牛農家重点指導：4農家で計画
(内容：母牛能力を向上させる飼料給与量・交配実施)
- ⑤ あかね和牛の肉質や肉量に影響を与える遺伝能力評価：46頭
- ⑥
 - ・飼料生産機械等導入件数：2件（24,288千円）〔R6：7件、R5：9件〕
 - ・生産基盤維持強化のための施設改修件数：14件（57,913千円）
〔R6：13件、R5：9件〕



飼料用米収穫



耕畜連携連絡会議